

NVC Monthly

同好会ニュース

寝屋川映像同好会会報

第110号(201810)

発行 竹田 幸男

■第15回ふれあい

フェスタへの参加

例会会場にしている

寝屋川市民活動センター

の年に1回のお祭りである

「ふれあいフェスタ」

10月7日(日)に実施

され、今年の映像協会は

参加団体の舞台を静止画

で撮影し、同時にビデオ

カメラで収録した音声を

バックにした「フォトシネマ」を作り、

DVDにして渡すというサービスを行い、

4団体7演目についてサービスを行いました。

2人で1チームを作り3チームが活動して7作を作り、それぞれ申し込んだ団体に渡して喜んでもらいました。



例会の窓

■映像同好会8月例会

日時：2018年8月8日(水)

場所：市民活動センター4階こども部屋

出席者：新井 小笠原 佐伯 妹尾 竹田 谷
中村地区委員

欠席者： 1名(50音順・敬称略)

例会次第

1. 報告・連絡・協議事項

(1) 会報随想 谷さん

(2) 7/15合同例会の結果

- ・ 作品映写
- ・ 大阪アマチュア映像祭への出品選考 谷作品「ありがとう！ 金剛山」出品決定。

(3) 文化連盟理事会(8/6)の報告(新井理事)

- ・ 文化連盟展(9/23)の準備
- ・ 出品募集 1人1~2作 1作品出品料 1000円
- ・ 募集締め切り8月例会(旧作品可)今日持参しない人は今月中に竹田まで。
- ・ 文化連盟バス旅行は8/27申し込み締め切り。

(4) 第9回ビデオ作品発表会

- ・ 2019年5月18日 松心会館 3F会議室
- ・ 1人2作品出品

(5) 市民芸術祭に向けた作品の準備

- ・ 今年も9月のつもりで準備を。1人1作10分以内

(6) ふれあいフェスタ10月7日への取り組み

- ・ 他の団体の出演舞台を写真で撮ってフォトシネマでDVD化
- ・ 10:30~14:00 市民会館 先着10組限定

(7) 文化芸術体験講座

- ・ 8/11/12開催予定(別紙参照) エスポアール会議室
10:00~15:00
- ・ すでに小学生と大人の3組が決定

2. 作品映写

(1) 谷さん「二人で楽しむ京都府立植物園」 8分

- ・ ノーナレーション、文化連盟展出品

(2) 谷さん 「竹炭づくりの仲間たち」 7分50秒

- ・ 2012年撮影 文化連盟展出品

(3) 妹尾さん「復活 疎水船」 10分

- ・ 琵琶湖疎水の誕生の物語を通じて田辺朔朗の功績をたたえたい。

(4) 妹尾さん「ヴィクトリアの滝」 10分

- ・ 2007年南アフリカ 水煙の立ちこめる巨大な滝を地上と空から紹介

(5) 新井さん「田んぼアートの遍歴」改訂版 9分

- ・ 米農家の南さんが、手作業の田植えや大学生のボランティアと共に田んぼアートを実現

(6) 新井さん「野崎まいり」 9分

- ・ 野崎まいりを撮影して昔を回想する作品

(7) 新井さん「お弓式」 9分

- ・ 2016年の友呂岐神社の神事1月式典までの光景

(8) 小笠原さん「彦根市のキャラクター『ひこにゃん』」 5分7秒

(9) 竹田さん「エッグモザイクと楽しい仲間たち」 4分45秒
・文化連盟展出品

(10) 竹田さん「古町のひなまつり」 10分
・文化連盟展出品

3. 各会員の最近の活動状況・情報交換・当面する問題点等（略）



■映像同好会9月例会

日時：9月12日（水）13：30

場所：市民活動センター4Fこども部屋

出席者：新井 小笠原 佐伯 妹尾 竹田 谷 中村地区委員

欠席者： 1名（50音順・敬称略）

例会次第：

1. 報告・連絡、協議事項

(1) 会報随想 新井さん（次回12月発行）

(2) 大阪アマチュア映像祭 12月9日（日）
・谷作品出品 多数の参加を。

(3) 文化連盟理事会の報告（新井理事）
・文化連盟展 舞台部門9月23日（日）10時集合 アルカスホール
映像協会は1階スタジオで映像作品展を実施

(4) 第9回ビデオ作品発表会
・2019年5月18日（土） 松心会館 3F会議室

(5) 市民芸術祭に向けた作品の準備
・1人1作10分以内 作品は9月末締め切り。

(6) ふれあいフェスタ10月7日への取り組み
・他の団体の出演舞台を写真で撮ってフォトシネマでDVD化する。
ビデオ1人と写真1人が組んで舞台撮影→パソコン編集組へ。DVD完成。
10：30～14：00 先着10組限定 弁当予約する。
・他に映像何でも相談・研究会を行うので、多数参加を。

(7) 文化芸術体験講座
・8/11～12開催結果報告 参加 竹田さん、新井さん、小笠原さん（略）

(8) 10/10 OMC映像フェスティバル開催
・10月の例会は10月17日に変更することとした。

(9) 会報は、創刊以後今まで毎月発行していたが、編集者が多忙なことから、毎月の例会やメールで十分連絡が取れることから以後は4ヶ月ごとに発行することとした。

2. 映写

- (1) 体験講座参加 倉前さん(4年生)「虹の作り方」3分55秒
- (2) 体験講座参加 岩見さん(6年生)災害時でも使える「ランタン」5分
- (3) 体験講座参加 幡川さん(5年生)「千年・クスをたずねて」5分
- (4) 小笠原さん 外国人に人気の「日本観光スポットランキング1位は?」6分20秒 千本鳥居と1万本を超える鳥居が人気。すごい数のキツネ像の寄進に驚く。日本人の底力を伝えたい、との本人コメント。
- (5) 妹尾さん 「アフリカの大地に生きる象」10分
・自然の中でのびのびと生きる象。リーダー同士の対決に出くわして感激された。
- (6) 新井さん 「御弓式」9分46秒
・2016年1月と2017年1月 2回にわたり撮影。弓でその年を占う。
- (7) 谷さん 「人生はこれからだ」2017年の登山記録 9分

3. 各会員の最近の活動状況・情報交換・当面する問題点等(略)



木曾駒ヶ岳登山

谷 弘子

大阪からバスツアー。駒ヶ根IC→路線バスに乗り約33分で「しらび平駅」到着。日本一高低差を誇るロープウェイで950mを7分30秒!一気に2,612m「千畳敷駅」へ。日本で一番高い所にある駅です。目の前にはいきなり絶景がひろがります。千畳敷カールです。

「駒ヶ岳神社」でお参りして、神社の横の遊歩道から歩きはじめます。雨が降って来たので雨具を着て登山開始。高山植物を楽しみながら遊歩道を進みます。

コース中一番の難所「八丁坂」を深呼吸をしたりしながらゆっくり登る。足元はゴツゴツした石がたくさんあり歩きにくい。

「乗越浄土」へ到着。ここで休憩。しっかりと水分補給もしないと。

登り続けて今日泊まる山小屋「宝剣山荘」に到着。



横になりたいのですが高山病になるので気をつけるようにと言われ夕食後も座って荷物の整理などをする。9時消灯。布団は一人一組あり一安心。山小屋は眠れないものだ。



翌日4時前に起床。5時に朝食→6時すぎに軽く体操をしてから出発。登り続けて中岳2,925mに到着。朝が早く頭がボーとしたままの登山。「中岳」から「木曾駒ヶ岳」へは一旦下って再び登ります。この付近で「コマクサ」をみて何だかほっとする。

頂上付近に来ると晴れ間が広がった。標高2,956m 日本百名山の一つ中央アルプス「木曾駒ヶ岳」到着。7時15分まで自由時間。その間「駒ヶ岳神社」でバッジ 御朱印を頂く。遠くに「御嶽山」がみえたので記念撮影。



「ハヶ岳」も時々雲の間から顔を見せる。山の天気は変わりやすい。



下山。宝剣山荘で休憩後千畳敷駅へ下ります。

猿を見かける。↓

オットセイ岩↑

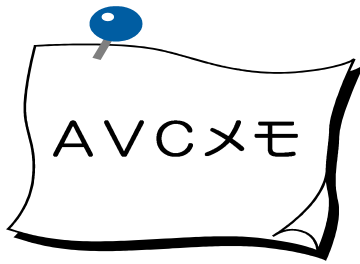
高山植物：ミヤマリンドウ、トウヤクリンドウ、イワツメクサ、ウメバチソウ、ミヤマアキノキリンソウ、シナノオトギリ、クロトウヒレン、ウサギギク、エゾシオガマ、ヨツバシオガマ、ミヤマウスユキソウ、サクライウズ、チングルマ（綿毛）等。



下りは「剣が池」を通過して千畳敷駅へ。ここで珍しい蝶々を見つけビデオにおさめることが出来た。蝶に詳しい主人に見せると高山蝶で「キベリタテハ」だと教えてもらう。

帰りは駒ヶ根高原の「露天 こぶしの湯」に入って汗を流してさっぱりしてから帰りました。今回は初心者向けの登山だったので楽しかったです。





8ミリフィルムのスキャン

竹田 幸男

106号で書いた「フィルムスキャナ」を使って8ミリフィルムをデジタル形式で復元してみました。

この間、捜し物をしている間に昭和47年、約半世紀前の近所の家族と旅行したカラーの8ミリフィルムが出てきました。スキャナにかけてみると、なんとか色が出るようです。この前の記事のように1秒間2コマの再生速度ですからダブル8、5インチリール、約10分のフィルムの再生には、約8倍の時間がかかることになり1時間20分ほどかけてスキャンが完成しデジタルデータが得られました。早速パソコンで再生してみると、半世紀経ったフィルムにしては思った以上に色が残っている、と言う印象でしたが、それでも全体に青っぽく、赤は残っているが、黄、緑が出にくいという感じでした。

そこでEdius Neo3のタイムラインへ入れて「3-Wayカラーコレクション」で白、黒、グレイのポイントで色バランスを取ってみました。一番顕著なのはグレイのポイントで、かなりの色が、それらしく再現してきたので、今度は「カラーバランス」を使って記憶色に近いところまで持ってきました。緑色などは、まだまだ再現が不十分ですが、なんとか「それらしい色」が出てきたように思います。ここで、色補正は「記憶色」が、たよりなので、80号で書いた「色補正の落とし穴」のように、色の見え方に白内障などによる偏りがあると、他の人が見たときにおかしな色になってしまいます。客観的には難しいところですが、最近撮影した映像は特に補正する必要は認めないので、色の偏りはない、と、勝手に判断してしています。 ■

(お知らせ) いままで創刊号から109号までは毎月発行していましたが、編集者が大変であることと、毎月の例会やメールなどでの連絡が密であることから以後は4か月ごとに発行することと9月例会で決定し、今回は1ヶ月あけての発行、次回は12月の発行とします。